

前 奏 黙想	祈 禱
招 詞 イザヤ書 44:6	讃 美 歌 397 やまいのどこにも
讃 美 歌 10 わがたまたえよ	献 金
祈 禱	讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
信仰告白 使徒信条 566	黙 禱
聖 書 創世記 19:20~33	主の祈り 564
ルカによる福音書 8:49~56	讃 詠 545 父のみかみに
讃 美 歌 II-167 われをもすくいし	祝 禱
説 教 『自分で起き上がる』	後 奏

「主はソドムとゴモラの上に天から、主のもとから硫黄の火を降らせ、これらの町と低地一帯を、町の全住民、地の草木もろとも滅ぼした(創世 19:24~25)」。ソドムとゴモラの町は、主によって滅ぼし尽された。その前に主は、町を守りたいアブラハムと「その 10 人のためにわたしは滅ぼさない(18:32)」と約束している。ということは、この町には「正しい者」がたった 10 人もいなかったのか。

神とアブラハムとのやり取りは、昔話形式のようにくり返される。アブラハムは問う。「あの町に正しい者が 50 人いるとしても、それでも滅ぼし、その 50 人の正しい者のために、町をお赦しにはならないのですか(18:24)」。義の神がそんなことをなさるはずがない、と迫る(18:25)。すると「主は言われた。[もしソドムの町に正しい者が 50 人いるならば、その者たちのために、町全部を赦そう](18:26)」。アブラハムは続けて 45 人ではどうか、40 人では、30 人では、20 人ではと「値切って」、とうとう 10 人でも赦すとなった(18:32)。アブラハムの機知ある求めだが、現代でもアジアや中近東のバザールでは 1/5 くらいの値切交渉は可能。御徒町アメ横あたりのバツタ屋でも 2/3 くらいはいけると思う。

「息子イサクを献げよ(22:2)」と命じられた時は、実に重苦しく淡々と従ったアブラハム(22:6)。ところがソドムとゴモラの際は堂々と神に立ち向かった。信仰とは、神に唯々諾々従うばかりではない。ある局面においては、神の前で、神に対し、神に委縮せず、全存在を賭けて神に「立ちほだかる」ことも信仰の真剣さなのだろう。信仰とはただ信ずること(受動)、そして自分で立ち向かうこと(能動)。

会堂長の 12 歳の娘が死んだ(ルカ 8:49)。イエスは父親に言う。「恐れることはない。ただ信じなさい。そうすれば、娘は救われる(8:50)」。会堂長に求めた信仰は「ただ信ぜよ」。だが死んだ娘には、違う角度の信仰を求めた。「イエスは娘の手を取り、[娘よ、起きなさい] と呼びかけられた(8:54)」。すると娘は、その霊が戻って、すぐに起き上がった(8:55)。求められたのは「自分で」起き上がること。

甦った少女に限ったことではない。この出来事に食い込んで記述されている「イエスの服に触れる女(8:44)」もまた「自分で起き上がった」。それをイエスは「娘よ、あなたの信仰があなたを救った(8:48)」と言った。「イエスから出た力(8:46)」によって癒されたのだが、聖霊の癒しはそのままこの女の「信仰」となった。また死んだ娘も「戻って来た霊(8:55)」によって甦ったわけだが、それは「娘よ、起きなさい(8:54)」というイエスの声に従った、死んだ娘の「能動性／信仰」によるものだった。

イエスの言葉と聖霊による癒しは、その当事者の「信仰」となる。そして他者の愛ある祈りもまた、当事者の信仰を呼び起こす(8:50)。屋根を壊してでもイエスに迫った、あの仲間たちの信仰によって中風の人が癒されたように(5:20)。私たちが祈る時、私たちの信仰は、愛する者の信仰と一つになる。

「人々は皆、娘のために泣き悲しんでいた(8:52)」が、イエスの言葉を聞いて「あざ笑った(8:53)」。「死」は覆しようがない常識だから。しかしイエスは「娘よ、起きなさい(8:54)」と死の領域へ呼びかける。信仰は死においても響き合う。少女はイエスの声に呼び出されて甦った(8:55)。もっとも無力な者が、死の領域にあってさえも、応じうる信仰。信仰はアブラハムのように粘り強く、率直に。

キリストは一人ひとりに呼びかけている 信仰はついそれに応えてしまうこと ほとんど反射的に
堅い決心よりも捨て身の軽さ とはいえ信仰は何かの条件に合致しない 人間の側からすれば偶然
本日午後 2:30~ 分区委員会(甲府教会)。10/4(土) 10:00~10:30 八ヶ岳教会で分区農村伝道協議会。
牧師の動き: 9/29 甲府刑務所で 4 名の個人教誨。10/1(水) YMCA 職員むけに聖書のおはなし。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HP は「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。